

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040

会長：柳原寿男 副会長：鈴木廣利
幹事：宮川邦光 副幹事：松葉隆夫



2004-2005年度
RIテーマ

ロータリーを
祝おう

100年の歩み

グレンE.エステス・シニア



彼岸花

[写真提供：櫻井 龍太君]

第1594回

<ソング> 君が代・奉仕の理想
<ソングリーダー> 石垣 善康君

CELEBRATE
ROTARY



会長挨拶

柳原 寿男君

10月は「職業奉仕月間」であります。

職業奉仕とは、職業を通じ或いは職業の中であって、他人を幸せにし奉仕することと定義されております。言い替えれば、相手の立場に立って考え、相手が喜びと満足を得られるように奉仕することでありましょう。

いろいろな職業の中であって、私の属する医療界では「人間」そのものを対象としており、文字通り相手の身になって考え、医療行為をしなければなりません。残念ながら医療過誤問題がたびたび取り沙汰されているのが現状です。

本日は医療過誤の中に薬害について言及いたします。過去においてサリドマイド事件(1961年)スモン・キノホルム事件(1970年)クロロキン事件(1971年)ソリブジン薬害事件(1993年)クロイツフェルト・ヤコブ病(1996年)等々の薬害事件が繰り返し起こっていますが、薬害エイズ事件(1983年)に触れてみま

す。
ヒト免疫不全ウイルス(HIV)に汚染された非加熱血液製剤の投与により、2000人もの血友病患者がHIVに感染させられた不幸な事件であります。血友病患者に大きな福音をもたらしたと云われた血液製剤ですが、日本が非加熱製剤の使用を承認した1978年の時点ですでに、肝炎の危険性は世界の共通認識でありました。更に非加熱製剤を投与された血友病患者にHIV感染の危険性が高いことも、1982年7月の「アメリ

カ疾病対策センター」の報告以降次々と明らかになっていたのです。それにもかかわらず厚生省(当時)製薬会社、研究者、専門医は危険を回避する措置をとらなかつたばかりか、製薬会社の利益とそれにより得られた自分達の利益を守るために、2000人もの血友病患者をエイズ(後天性免疫不全症候群)に感染させたのです。その当時は、エイズに対する偏見の著しい時代でした。その中で、薬害エイズの被害者として川田龍平君が実名を公表した勇気ある行動を思い出すことが出来る方もおられるかどうか、風化させないことも大事です。

度重なる薬害が何故起きたか。製薬会社には利益優先の経営論理があつて、品質や安全に対する倫理観、責任感が欠けていたこと、又、監督官庁(当時の厚生省)や研究者、専門医もその利益にあずかろうとした事が、重大な情報を陰べいしたものと考えられます。

幹事報告

宮川 邦光君

●国際ロータリー第2620地区静岡第4分区、第5分区ガバナー補佐と拡大増強委員会より「第2回・地区会員増強セミナー・レディスIM」の案内が届いております。

日時 11月16日(土)14時~16時

会場 ホテルアソシア静岡ターミナル

出席義務者 会員増強委員長

●佐藤直前ガバナーより「地区30年の歩み」・「2003~04年度GSE報告書」と「2003~

04年度記録詩及びガバナー月信合本」が送られてきております。

2003～04年度研究グループ交換報告書が送られてきております。

米山梅吉記念館 館報が送られてきております。静岡クラブ、静岡北クラブ、静岡西クラブより会報が送られてきております。

藤枝地区暴力追放推進協議会より暴力追放啓発ティッシュの配布依頼の案内とティッシュ100個が届いております。

藤枝子どもと本をつなぐ会通信No14が送られてきております。

出席報告

松葉 隆夫君

本日のホームクラブ出席者		前回の補正出席者	
26/42	61.90%	33/42	78.57%

(1)欠席者(事前連絡とメーカーキャップをどうぞ)

飯塚君 桜井富君 酒向君 杉山君
竹田君 成瀬君 増田君 松葉義君
水野君 浅川君 板倉君 鎌根 鈴木君
仲田晃君 望月君

ビジター

河村 義夫君(榛南)

スマイルBOX

松葉隆夫君

●誕生日お祝いありがとうございます。健康管理を第一にこれからも頑張りたいと思います。

仲田 廣志君

●会員誕生祝ありがとうございます。

渡辺 篤司君

●誕生祝いありがとうございます。栗原 毅君

●結婚と誕生(本人)のW受賞となりました。ありがとうございます。望月 俊昭君

●夫人たん生祝ありがとうございます。

小宮 弘一郎君

●結婚記念日お祝いありがとうございます。

岩田 規君

●10月21日は〇〇回の結婚記念日だそうです。

櫻井 龍太君

●いつのまにか55回の記念日を迎えました。夫婦共健康に感謝します。村松 徳君

●結婚して40数年今だ新婚。そこで一句“妻と住む二人の夜の寂しくて酒びんの底見えるまで飲む”望月 晃君

●藤枝大祭り無地終了いたしました。皆様の御協力に感謝いたします。村松 英昭君

スマイル累計額 439,300円

社会奉仕委員会

献血のお知らせ

みなさんの御協力をお願いいたします。

10月19日(火) 11月16日(火)

9:30~11:30 12:30~15:30

場所:藤枝市民会館

主催:藤枝ロータリークラブ

平成16年10月1日より、本人確認が実施されます。献血手帳と本人を確認できる証明書をご持参ください。

職業奉仕委員会卓話

職業奉仕月間にあたって 委員長 櫻井 龍太君

10月は職業奉仕月間ですが、日本のロータリークラブでは、米山月間でもあります。

職業奉仕は、ロータリーの第二の奉仕部門でありまして、他の奉仕団体には無いロータリー独特のものであります。

RCの職業奉仕は他の委員会(社会・国際委員会等)と違って、会員個人の奉仕として続けてきたのであるが、1987~88年度から「職業奉仕は、クラブと会員双方の責務である」と改められ、そして職業相談・職業指導・職業情報・ロータリーボランティア等の小委員会を設置して活動するよう求められています。

また、職業奉仕は、顧客に対してだけでなく、従業員・競争者(同業者)・協業者(仕入先)等す



すべての関係者に対して、ひとしく公正に接するよう、示されています。

職業とは、生活の為に収入を得る事であり奉仕とは、単に金銭或いは物品による、所謂“おまけ”ではなく、ロータリーの奉仕は総ての奉仕について“心”の奉仕であると言われています。責任を持てる商品に真心を添えて、適正な価格で販売するのが職業奉仕であり、したがって無料又は極めて低い価格での販売は、職業奉仕とはいえないとの事です。

世界のロータリアンが職業奉仕をどのように考えているかを2～3紹介します。

- 1 職業奉仕は、職業に誇りを持ち、正直かつ品位ある方法で実践すること。
- 2 職業奉仕は、生活の資を得る方法を生きがいに変えること。
- 3 職業奉仕は、働き良い職場を作り、地域により一層の奉仕をすること。

(担当/池ノ谷)